

## 山行報告書

山行管理部

### 自然保護部 備中松山城と武家屋敷群散策 12月11日

CL松本(正) SL杉谷 石野(博) 参加7名

JR大阪駅8:00(出)―相生―岡山―備中高梁駅12:08(着)

高梁駅(タクシー)―ふいご峠12:40～備中松山城13:15(着)

昼食後本丸散策～ふいご峠～武家屋敷群～高梁駅15:49(出)―

JR大阪駅19:58(着)

備中高梁駅に着くと天気も回復しひと安心。ふいご峠から天空の山城までハイキングコースを歩く。大手門跡北側の岩盤上に築かれた高石垣は圧巻本丸では猫城主(さんじゅうろう)が迎えてくれる(ちょっと無愛想)昼食後日本三山城の一つで、山城唯一の現存天守を見学さすがおもむきのある天守(他二城は大和の高取城 岐阜県の岩村城)帰路はふいご峠より武家屋敷群、頼久寺(小堀遠州作の庭園)高梁キリスト教会を散策する。(杉谷 記)

### 公開山行 生駒山 12月25日 CL網、SL森野、島田 参加16名

近鉄瓢箪山駅9:00 → 郷土博物館(体操)9:40 → 旗立山 11:00 → ぼくらの広場 11:10 → 暗峠 11:30 → 鬼取山 12:20 → 生駒山頂 12:30(昼食) → 摂河泉コース 13:00 → 枚岡管理事務所(解散) 15:00 → 近鉄額田駅

二日前は、雪が舞う厳しい寒さで心配しましたが、当日は寒さも和らぎ登山道も凍ることなく安心して歩けました。

10年前は、暑い時期に同じコースを担当しましたが、汗びっしょりで辛かったことを記憶してます。今回は寒い時期で快適に歩くことができました。

季節によって身体にかかる負担が違うのを感じました。

山行中、久々に20人くらいの団体とすれ違いました。

コロナ収束への先が見えない不安もありますが、これからも皆さんとの山行を楽しみたいと願っています。(島田 記)

### 自然保護 矢倉海岸探鳥会 1月8日(日) CL井 SL目加田 参加14人

阪神福駅(集合)～大野川緑陰道路～新淀川右岸堤防路～矢倉緑地公園～新淀川右岸堤防路～大野川緑陰道路～阪神福駅(解散)

緑陰道路(遊歩道)ではヒヨドリ、ハシブトガラス、ムクドリ、ツグミ、メジロなどよく見られる野鳥ですが、くちばしや頭部、尾部など識別のポイントを比較しながら観察しました。新淀川右岸堤防からはカモ科のホシハジロ、キンクロ

ハジロやヒドリガモなどの他、カンムリカイツブリ、オオバンも望遠鏡でゆっくり見ることが出来ました。堤防道路上、数羽のハクセキレイが近くの地面で尾羽を上下させました。矢倉緑地公園の先端部では、CLのみの観察でしたがアオサギとイソヒヨドリを見ることが出来ました。昼食場所の芝生自由広場では、双眼鏡でも十分見ることの出来る距離の樹々に、羽に白斑のジョウビタキが数羽飛び回って楽しませてくれました。復路では猛禽のミサゴが河川内の鉄塔上での大きな魚の食事風景を、長々と見せてくれました。

当日、西又は北西の風 2m の予報もあって河川堤防での寒さを心配しましたが、一時風が出た程度で穏やかな空模様の中、探鳥ハイクを楽しめました。他にイソシギ、モズなど出現野鳥種数は 24 でした。

矢倉海岸はわずかですが自然の護岸や潮だまりがあり、また干潟も見られるのでシギ・チドリの渡りの時季にも訪れてみたいところです。

今回の探鳥会翌日、矢倉海岸にマッコウクジラが 1 頭現れました。悲しいことに数日後に死んでしまいました。(井 記)

**ウイークデー 二上山 1月11日 晴れ L高村 SL豊村 参加14名**  
9時半二上山駅集合、登山道入り口で準備体操。ゆっくりペースで雄岳を目指す。大津皇子の墓を経て頂上に到着。休む間もなく雌岳へ。頂上の日時計は丁度 12 時に影を落としていた。30 分の昼食後、下山につく。岩屋峠で一服。ザックを置いて岩屋を見学。天気恵まれ、みな無事で当麻寺にて解散。(豊村 記)

**有志山行 丹生山・帝釈山縦走 R5年1月3日 CL児玉詔二**

快晴 冷たい微風が尾根上吹いていた

参加人数:距離 6名 9Km 5時間11分

神鉄谷上駅下車衝原行バス 8:32 発乗車

衝原バス停着 9:00 すぐ発サイクルセンターで 9:05 着体操 本日のコース案内及びミーティングー 登山口 09:10 出発 336m地点 9:40 表参道で会い 10:07 着 /丹生山山頂 10:19/23 発帝釈山山頂 11:13 着昼食 11:59 発丹生山山頂 12:40 着 12:51 発表参道箱木千年家分岐着 12:58 十一丁石柱 13:23/26 発 293m地点 13:41 着/50 発表登山口丹生神社前バス停着 14:11 解散 14:18 発谷上駅行バス乗車

この山の特徴

- 低山にもかかわらず静かな里山です
- 源義経が鶴越えの折使ったと言われ『義経道』と呼ばれている
- 山頂に丹生神社。明要寺がありここも豊臣秀吉時代の古戦場であった

- 丹生神社の雌雄 2 体の狛犬は少し離れた場所から見ると愁いを含むとぼけた顔だった
- 表参道には高野山で有名な町石のような背の高い石柱が何丁と導いてくれる
- 葉っぱが登山道を絨毯のように敷き詰められ静けさの中でサクサクと落ち葉を踏みしめる楽しいところが随所にあった
- 帝釈山山頂からは明石海峡大橋や淡路島、高取山、須磨アルプス、泉南の友が島と思われる？絶景が見られる
- なんのおまじないかが解らないが小石に漫画絵が描かれたのが奉納されていた

(児玉 記)